

★VOL 13 令和3年6月2日発行



## 絵本の楽しさをあすそ分け

### ■「へんてこたいそう」

新井洋行／作

ページをめくると、トイレや非常口のマークたちが〈いっち・に いっち・に〉と動き出し、体



操を始めます。●後半は、体操に加えてつながりのあるお話に変わり、疲れた体を癒やして終わります。●体操がなく、あれっ？と思う場面がありますが、ちゃんと裏表紙に答えがあります。●2歳くらいから。

### ■「かいぞくタコせんちょう」

二宮由紀子／文 市原淳／絵

宮由紀子さんは、どの作品も言葉

をあやつり、思いがけない展開のクスッと笑えるお話に仕上げちゃうので、オススメ！●幼稚園の頃から〈かいぞく〉になりたかったタコの子どもは大きくなったので、帽子とシャツと眼帯を



作り、〈海賊のタコ船長〉になりました。でも、海賊の船長になるためには〈手下と船〉が必要です。●ここから二宮ワールドが始まります。手下を作り、イカ山賊たち

との戦い、船を持っているタアコ船長との出会い…あっという間に、ゆかいなお話に引き込まれます。●センスあふれる絵が、お話のおもしろさをグンとアップさせ、最後のページの絵にはさりげなく〈おまけ〉を仕込んでいます。●3歳後半くらいから。親子いっしょに楽しめます。

### ■「こねこのきょうだい

かぞえうた おやすみ」

石津ちひろ／文 石黒亜矢子／絵

子ねこの3兄弟が眠くなってから眠りに入るまでを1から10までの数え歌にしたお話。●短いお話



の中に〈ちょっとした冒険〉があり、3兄弟は満足して夢の世界へ…。●「おやすみ」「おふろ」「おやつ」の3冊シリーズ。●2歳くらいから。

### ■「なあなあ、あそぼ〜！」

さいとうしのぶ／作

葉遊びの作品をたくさん生み出している作者の新作は、成長とともに変化するネコと子どもとの関係を描いた物語。●縁があって飼いねこな



った子ネコと飼い主の女の子〈おねえちゃん〉は共に成長しますが、おねえちゃんと遊んで欲しいネコと学校へ行ったり、友だちができたりするおねえちゃんとはちょっとずつすれ違いが生まれます。●作者は、その解決策としてネコに〈ネコの国〉を用意しました。最後のページでは、そこからおねえちゃんの元に戻り、安心してきったネコの表情が描かれ、読んでもらう子どももつられて安心気分。●4歳くらいから。

## ■「もの おもう」

新井洋行／作

家の中にあるいろいろな〈モノ〉だって、きっと何か思ってるはず！を絵本にするとこうなりましたという作品。●作者は、デザインや色づかいのセンスが抜群の人気絵本作家。●表紙から遊び心にあふれ、〈モノ〉がいつもどんなことを思っているのか



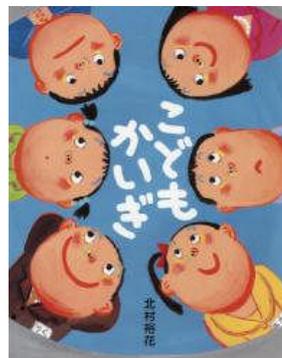
を読むだけで楽しい気持ちになれます。最後のページが裏表紙につながり、絵本をまるごと楽しめるお得な作品。●3歳くらいから。親子で楽しめます。

## ■「こどもかいぎ」

北村子花／作

「ごっこあそびのノリノリで保育園の子どもたちが会議をします。テーマは〈おこられたときは どうしたらいいか?〉。

●6人の子どもたちが、自分たちがお母さんやお父さんにおこられた時のことを話ながら考えを言い合います。途中、脱線しながらもみんなの出した結論は〈なるほど〉と読み手もうなずけることでした。●司会役のけんた君は、おもちゃを片付けないのでお母さんにおこられますが、さっそく〈なるほど〉を実行します…。●おとなにも役立ちます。●5歳くらいから。



# 本との出会いを

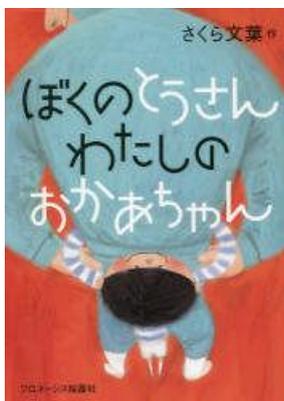
## ボーイズ&ガールズに

## ■「ぼくのとうさん

わたしのおかあちゃん」

さくら文葉／作

子どもたちが書いた詩を元に、お父さん・お母さんの仕事を題材にして作られた物語2編。●仕事に誇りを持って働いているお父さんが大好きなぼく・ひかる君が、お父さんの仕事をバカにしたクラスメイトをめぐるお話と、わたしと弟のために一生懸命に働く大好きなお母さんと過ごす大切なひとときを描いたお話は、ほんわかとした温かい気



持ちにさせてくれます。●小学校中学年に。

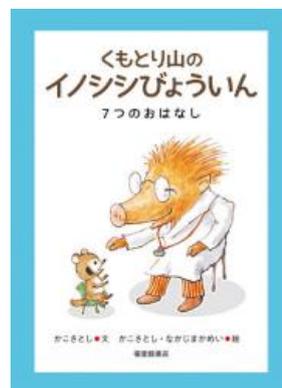
## ■「くもとり山のイノシシびょういん 7つのおはなし」

かこさとし／文

かこさとし・なかじま

かめい／絵

雑誌「母の友」掲載のお話をまとめた短編集。●くもとり山にあるイノシシ先生の病院にはたくさんの動物たちが病気やけがで訪れます。先生は、動物たちの話を聞きながらその原因を探り当て、手当をします。そのやりとりが



楽しく、クスッと笑えます。●絵は、かこさとしさんと西興部村で教育支援に従事している孫の中島加名（かめい）さん。ほのぼのとしてやさしさに満ちています。●小学校低学年とかこさとしさんの絵本で育ったおとなにも。

## ■「けんだま しょうぶ」

にしひら・あかね／作

とにかく楽しい物語。●最初のページをめくるとキツネとタヌキが魔法の薬をけん玉にかけています。

●けいくんがけん玉を持って出かけ、キツネ、タヌキ、魔法使い、てんぐとけん玉勝負！魔法がかかったけん玉は、技を出すたびにいろいろなものに変わります。その変わり方とゆかいな絵が魅力。●けん玉の基本技と魔法の薬をかけた技もおまけに付いています。●読んでもらうなら4歳くらいから小学校低学年に。

けんだま しょうぶ



にしひらあかね

## ■「青空モーオー！」

堀米薫／作 pon-marsh／絵

小学校4年生の陸に大好きないとこの大ちゃんから電話が来ました。大ちゃんは高校を卒業して岩手県の牧場で働いています。明日から始まる夏休みの1週間を牧場の仕事を手伝いながら過ごさないかという誘い。もちろんOKの返事をします。●陸は牧場主の娘で同学年の女の子・まりんから牧場の仕事を教わり、牛たちの世話に励みます。陸は、牛たちを通して陸が学校で直面していることに向き合う気持ちを持ち始め…。●著者は宮城県で和牛を飼育しているので、牧場の仕事や乳牛のことをていねいに綴っています。●前向きな気持ちになれる物語。●小学校中学年に。



## ■「キニ子の日記 上・下」

間部香代／作 クリハラタカシ／絵

いろいろなことが気になる小学校6年生の女の子・キニ山キニ子が主人公。担任の須原C介先生に出したいときに書くという日記

と先生からのコメントがセットになっている変わった形の読み物。●キニ子の〈気になること〉はバラエティに富んでいます。キニ子が気になるポイント、目のつけどころのおもしろさと先生がコメントする分かりやすさが息の合ったQ&Aになっています。月単位の構成で、おまけのようなページもふんだんにあり、つまみ食いのような読み方もできます。●先生のコメントを補うイラストが理解しやすくしっくりときます。●読み物が苦手な子でもOK。知識も増えます。小学校中高学年、中学生にも。



## ■「妖怪コンビニで、

### バイトはじめました。」

令丈ヒロ子／作

イズミは中学生の男の子で、妖怪が見え、話すことができます。●偶然のことから妖怪コンビニでアルバイトを始めたイズミは、死んでしまいたい

と思っている少女・コアと交通事故で死んでしまっても宙ぶらりんの少年・タカジュンに妖怪コンビニで出会い、2人が抱えている辛さの解決に関わります。●自身のホラー動画がSNSで評判を得ながらクラスで陰湿ないじめにあっていてコア、要領が悪く両親からいつも責められ、体型とはギャップがありつつもダンスが大好きでアイドルになりたかったタカジュン…妖怪の世界を取り入れることで、現代の難しい問題を子どもたちに読んでもらえる作品に仕



上げています。●コンビニの店長・サバク先輩、イズミの父親が再婚するメイカさん、最後に登場するコアのお母さんたちのキャラクターが濃く、いい味を出しています。●小学校高学年から中高生に。

## ■「ろくぶんのナナ」

林けんじろう／作

おとなしくて、いっつもうじうじしている小学校5年生の女の子・ナナが、ふしぎなサイコロの力に振り回されながらも、〈友だちの幅と信頼〉を広げ、〈いろいろなことに挑戦する勇気〉をつかむ物語。●ナナは、クラスのバス遠足でみんなとはぐれ、見慣れぬみやげもの屋からサイコロをもらいます。●帰りのバスの中で、さっそくふしぎなことが起きました。このサイコロをナナが素手でふると出た目によって、それぞれ違うサイコロの性格がナナに乗り移り、〈キャラ変〉が起きてしまうのです。●ナナは、身の回りで起きるできごとを親友のポポちゃんと歴史マニアのケンヤ、口の悪いゲンにサイコロのことを話し、サイコロの目によって変わっていくナナの性格をフォローしてもらい、いろいろなできごとを乗り切っていきます。●サイコロの目のキャラクターとキャラ変したナナのふるまいがおもしろく、親友のポポのためにサイコロとケンヤ、ゲンの励ましを得て勇気を出すナナ、そしてタイトルもステキです。●小学校中高学年に。



## ■「夕焼け色のわすれもの」

たかのけんいち／作 千海博美／絵

物語の中にもう一つ物語があり、その物語が現代と昭和をつなぎ、主人公の翔太とおじいちゃんの子ども時代を結びつける役割を果たしています。●古書店を営むおじいちゃんからもらった1冊の本『夕映えのやくそく』の世界が翔太を通し

て、読み手の子どもたちに家族や子ども時代の傷、友だちのことを問いかけてきます。●謎解きのようなおもしろさとタイムスリップのようなふしぎな感覚もあります。●小学校中高学年、中学生にも。



## ■「いちご×ロック」

黒川裕子／作

レコードやCDのジャケットを見て買うことを〈ジャケ買い〉と言いますが、この作品は〈ジャケ読み〉できます。表紙の絵にインパクトがあり、物語の最後とぴったりつながっています。●物語の題材に〈エアギター〉を使い、正反対のような2人の女の子（いちごとロックちゃん）が主人公。●いちごは第一志望の高校受験に失敗した女の子。中学生時代の輝きは失せ、何もかも投げ出してしまう日々。あるとき、河川敷で見た同級生の女の子、ロックちゃんのエアギター。パフォーマンスがきっかけで物語が動き始めます。●ロックちゃんはレベル特Aの変人として有名。ミルクティの髪にカラコン、サンダルばき、拡声器で曲をがなりたてていました。そんなロックちゃんの誘いに乗ってエアギターのユニットに加入したいいちごですが、家族との距離感・無理解やロックちゃんの変人になってしまった秘密などが絡み合い、2人にとって大事なテーマ〈わたしらしさって何だろう？〉が描かれ、緊張感のある物語になっています。●2人を支え、物語にインパクトを添える人たちやエピソードが混ざり合い、エンディングでは素のままの自分たちを認め、肯定するロック・スピリットがはじけ、感動のパフォーマンス！●読める子は小学校高校学年から、メインは中高生。。

